

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

夏休み親子木工教室を開催!

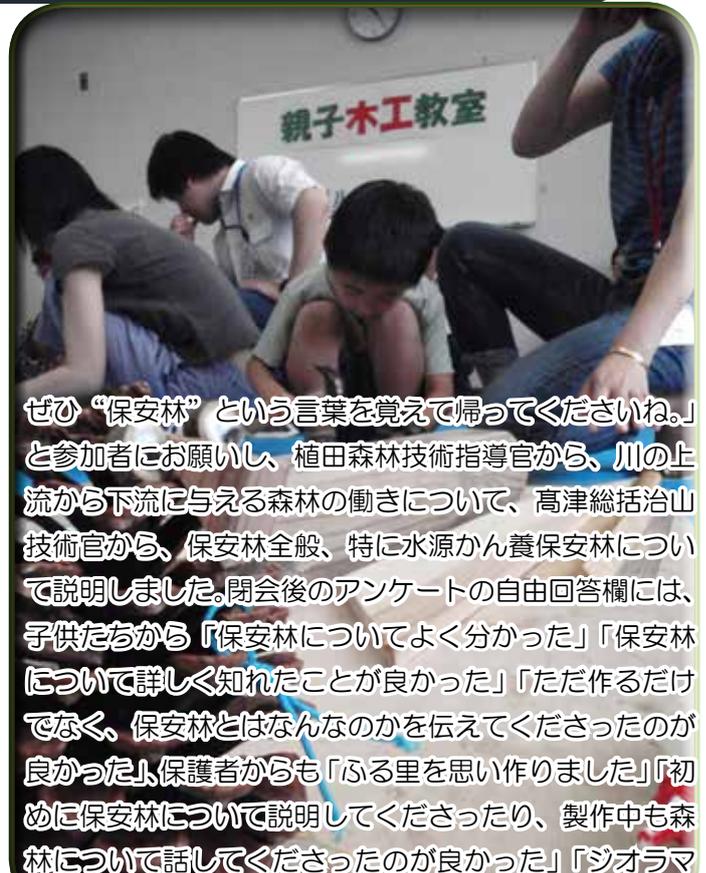


【京都大阪森林管理事務所】7月24日(木)・25日(金)の2日間、京都農林水産総合庁舎内において、「和食を学ぼう!」をテーマに、夏休み子ども「消費者の部屋」を近畿農政局と京都大阪森林管理事務所の共催により開催しました。これは、「食と農林業」をめぐる状況や施策について、小学生を対象として関心を持ってもらうために、展示や体験コーナーを通じて、毎年情報発信しているものです。

近畿農政局より3名、当所より15名、箕面森林ふれあい推進センターより1名がスタッフとして指導のもと、1日目に自由木工工作(小1~小6)、2日目に「水源の森」ジオラマづくり(小5,6向き)を開催しました。両日ともキャンセル待ちが出るほどの申込み状況で、2日間で85名の親子に参加していただきました。

自由木工工作では、今年は「木材も地産地消」をアピールすべく京都府産のスギ板やウワミズザクラの枝など、間伐材や除伐材を利用して材料を用意したほか、木の実や松ぼっくりも京都府内より集めました。開会の挨拶では、当所上野調整官から、日本の森林は今大きく育った木がたくさんある一方、国産材は外国産材に比べて使われていない現状を紹介し、循環型資源として国産材をもっと使用してほしい旨を参加者に伝えました。閉会後のアンケートの自由回答欄には、「木の実がたくさんあった」「珍しい材料があった」「京都府産の木材が使用出来て嬉しかった」等の反応がありました。また、「家庭ではなかなか触れることが出来ない木、工具、木工体験が出来て良かった」等の感想をいただきました。

「水源の森」ジオラマづくりでは、初めに「今日は、



ぜひ「保安林」という言葉を覚えて帰って下さいね。」と参加者にお話し、植田森林技術指導官から、川の上流から下流に与える森林の働きについて、高津総括治山技術官から、保安林全般、特に水源かん養保安林について説明しました。閉会後のアンケートの自由回答欄には、子供たちから「保安林についてよく分かった」「保安林について詳しく知れたのが良かった」「ただ作るだけでなく、保安林とはなんなのかを伝えてくださったのが良かった」、保護者からも「ふる里を思い作りました」「初めに保安林について説明して下さったり、製作中も森林について話して下さったのが良かった」「ジオラマをつくることによって、保安林の事がより分かり、勉強になった」「森についての話が聞けて良かった」等の感想をいただきました。

両日を通して、子供たちのアンケートには「楽しかった」「面白かった」「また来たいです」「スタッフの方が親切に対応してくださり良かったです」「このようなイベントを続けてください」などたくさんの応援メッセージをいただき、大変嬉しく思いました。

また、保護者からは「親子で楽しみながら集中して取り組むことができました」「保安林の事を学んだり、親子で楽しめる機会にもなり、有意義な時間が過ごせました」との感想をいただき、親子で楽しみながら日本の森林について考えることのできるイベントの重要性を再確認するとともに、「やって良かった!」と実感することが出来た夏の日の暑い2日間となりました。



ニュース

平成26年度
森林環境教育セミナー

【箕面森林ふれあい推進センター】 箕面森林ふれあい推進センターでは、「森林環境教育の推進」を図るため、教職員への普及啓発や技術指導、森林環境教育のプログラムや教材の提供などを積極的に取り組んでいます。

8月4日（月）、箕面国有林「勝尾寺園地」において、大阪府の箕面市教育委員会と共催による、平成26年度環境教育研修（森林環境教育セミナー）を開催しました。

箕面市の経験2年目教員と希望者、近隣の豊中市からの教職員29名を対象に開催しました。

また、講師2名、きんきちゅうごく森林づくりの会4名、森林管理局関係7名、箕面市教育委員会1名の計14名が指導に当たりました。

開会にあたり、箕面森林ふれあい推進センターの才本所長より、「持続可能な社会を形成していく上で、生態系保全や再生可能な資源生産面等で森林が果たす重要な役割を体感し、身につけることができる森林環境教育の充実を図る必要がある。このセミナーをきっかけにして、学校教育の場で森林環境教育を実践してほしい」と挨拶がありました。

午前中の講義では、京都教育大学の山下宏文教授より「森林環境教育の重要性と進め方」と題して、小学校での各教科で、森林や里山がどう取り扱われているか。

絵本の「ごんぎつね」を題材として里山の扱われ方や森林環境教育のポイント（体験する、知る、かかわる）、今後の森林環境教育の進め方について講義が行われました。参加者からは、『美しい森林とは』など考えさせられた」「教科書と森林環境教育を結びつけて考えることが勉強になった」などの感想が聞かれました。

次に、箕面公園昆虫館の久留飛克明館長より「昆虫きらいにならないで」と題して、まずは先生が昆虫を好きになってもらいたいとして、「昆虫になぜ羽があるのか」

「幼虫から成虫への変化のしかたの違い」など、自説も含め昆虫はすばらしいとの思いが詰まった講義がありました。

参加者からは、「昆虫が少し好きになった」「不思議だと思ふ気持ちを大事にしたい」など、館長の意図が伝わった感想が出されました。

午後からの間伐体験では、当センター職員や森林づくりの会の指導を受け、4班に分かれて実施しました。



参加者は、傾斜のきつい場所で木を伐ることや隣の木に引っかかってなかなか倒れない木に悪戦苦闘していました。

また倒した木を持ち上げて、細い木でも重いことを実感し、危険と隣り合わせの作業であることも理解するなど、「身をもって体験してわかったことが多かった」「間伐の意義を学んだ」などの感想が聞かれました。

受講した教職員へのアンケート結果では、「セミナーを受講して、森林環境教育は必要だと思いますか？」との質問に対して、小学校教員で回答者17名中12名が必要と回答し、中学校教員でも回答者9名中7名が必要との回答がありました。しかし、実際に授業が行われているかを聞いたところ、行われている小学校は2校、中学校は3校との回答となっていました。

意見の中では「実際に山にきて自然にふれて学ばせたい」「環境の授業の中で今回の内容を生かしたい」「国語・音楽などの教科でも森林について考えたい」「子どもたちに自然とどうかわっていくか考えさせたい」等の意見が出されました。



「森林環境教育セミナー」が実践的な森林環境教育に繋がることに期待し、箕面森林ふれあい推進センターでは、引き続き実践での支援や体験学習の場の提供などに取り組んでいきたいと考えています。



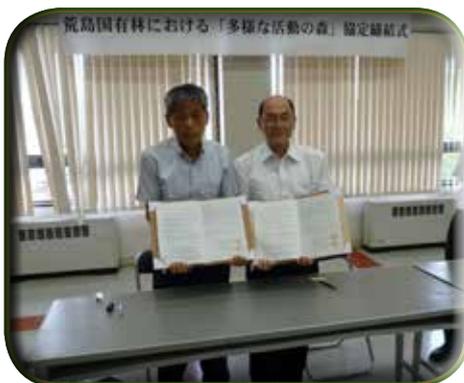
「多様な活動の森」 3例目の締結!

【福井森林管理署】 8月4日(月)、福井森林管理署「日本百名山」の一つである、大野市の荒島岳(1523m)の登山道やブナの森を守るボランティア活動を続けている荒島愛山会と「多様な活動の森」協定を大野市役所において締結しました。

協定後、荒島愛山会の高松会長は、「愛山会は結成11年目を迎え、これまでの活動が森林管理署に認められたことを誇りに思う。引き続き一般の参加者を募り、高山植物やブナ林の保護、登山道の整備などさらなる活動を行っていきたい」と挨拶がありました。中島署長からは、「われわれと一緒に森林保全活動を行っていただける体制ができた」と今後の期待が述べられました。

近年、登山客の増加で荒島岳の高山植物が踏み荒らされている場所もあり、今年初めて頂上付近に高山植物を守るためのロープ柵を設置することとし、このことがきっかけになり、協定の締結に繋がりました。

福井森林管理署における「多様な活動の森」の協定締結は3例目となります。



今年で6年目! 森と水の学習会

【広島北部森林管理署】 7月23日(水)、広島北部森林管理署とアサヒビール「アサヒの森環境保全事務所」(松岡洋一郎所長)は、甲野村山森林共同施業団地内のアサヒの森及び甲野村山国有林において、今年で6年目となる「森と水の学習会」を庄原市比和小学校5年生・6年生児童20人を対象に開催しました。

当日は梅雨明け直後の快晴となり、絶好の学習会日和となりました。

午前中は恒例となったアサヒのスタッフによる「森の子体操」、森林ボランティア団体「びほく・森のサポーターズ」による「紙芝居と森林クイズ」を行った後、3班に別れて「アサヒの森」の自然観察を行いました。

自然観察では、職員等の説明によりピオトープに集まったオタマジャクシとアカハライモリの関係の話を聞いたり、歩道沿いのハクウンボク、タムシバ、マタタビ



などのさまざまな植物を見たり触ったり臭いを嗅いだりするなどして五感を使って学びました。

午後からは、甲野村山国有

林の間伐作業現場へ移動し、職員から事業の概要、作業の流れ等の説明を聞いた後、実際にチェーンソーによる伐倒、スイングヤードによる集材、プロセッサーによる造材まで一連の作業を見学しました。

初めて訪れる林業の作業現場で、スギの大径木が大きな伐倒音とともに伐採されると、児童達からは大きな歓声があがりました。作業道沿いに集められた木がプロセッサで枝払いされ、次々と丸太に切り揃えられていくと、その速さに驚いた様子で興味深そうに見学していました。

最後に、児童から「今まで見たことのない植物が沢山あり、今後自分の家や学校の周りを探して自分で見つけてみたい」、「間伐の意味や効果を知ることができた」などの感想の発表がありました。

また、閉会にあたり校長先生から「普段は見るができない林業機械を間近で見られて生徒はもちろん私達も大変勉強になった。本日、見たことや聞いたこと、感じたことは生徒の思い出としてずっと残っていくと思います。」との、お礼の言葉をいただきました。

今後、児童達が自然の中での体験等を思い出し、森林・林業に少しでも興味を持ってもらえたらな...と願っています。



森林教室開催！ ～大志戸国有林～

【島根森林管理署】 7月26日（土）、社会貢献の森として協定を締結している大志戸国有林の「連合島根「ふれあいの森」」において森林教室を開催しました。

前日に夕立があり、会場のコンディションが心配されましたが、参加者（子供20名、大人29名）が現地に到着する頃には青空に少し雲が浮かぶ程度の、最高の天候に恵まれました。

午前中の自然観察会では、親子で林道を歩きながら「日差しを木々がさえぎってくれるおかげで涼しい」「森の中は川が流れる音、鳥の鳴き声と

いろいろな音がする」等と普段あまり触れることのない自然の風景や草木のニオイなど、森林の様子について五感をフル回転させ感じ取っていました。また、お気に入りの葉っぱを手に、森林からの様々な贈り物にも興味津々の様子でした。

今回は、午後からの紙芝居に関連して、森の中の生き物物を見つけるゲームや、森の土を掘って触ってもらうなど、これまでとは少し違った内容としたことで、大いに盛り上がりました。

自然観察が終わると、次はお待ちかねの魚のつかみ取りです。子供たちは素早く水着に着替え、我先にと川に入り「水が冷たくて気持ちいい」「魚が足に当たってくすぐったい」等と歓声をあげながら、約100匹のニジマスとヤマメのつかみ取りを行いました。せっかく捕まえた魚が手から滑り落ちたり、素早く逃げる魚が捕まえられず苦戦しましたが、徐々にコツを覚え、元気な魚を見事捕まえていました。

捕まえた魚は大人が竹串に刺し、炭火で焼き参加者全員のお弁当のおかずとなりました。

午後からは、参加者全員を対象に、木への親しみや木の文化への理解、木材の良さや利用の意義を学んでもらう「木育」を意識した内容とし、パワーポイントを使い皆がよく

見えるように工夫した紙芝居と木工教室を行いました。



紙芝居では森林の大切さを学び、途中で出されたクイズにも笑顔で元気よく手を挙げて答えていました。また、木工教室では、桜の枝、板、松ぼっくり

などを利用したフォトスタンド作りに挑戦し親子とも没頭し、それぞれの感性を活かした個性豊かな作品が出来上がり、それぞれの作品を手に満足した様子でした。

家族単位での参加がほとんどを占めている今回の森林教室では、夏休み最初の家族との思い出となり、家庭内でも自然の中での体験等を思い出して森林、林業に興味をもってもらえればとの願いを込めて閉会しました

「民有林と国有林の一体的な管理経営」のための現地検討会

【和歌山森林管理署】 7月24日（木）、第2回「民有林と国有林の一体的な管理経営」のための現地検討会を宮城川国有林並びにすさみ町及び白浜町の民有林で開催しました。

当日は、気温30℃を超える猛暑にもかかわらず、有識者、県西牟婁振興局の職員（准フォレスターを含む）、白浜町、すさみ町の林務担当課、地



元森林組合の施業プランナー、国有林と隣接する民有林の所有者、当署の職員合わせて19人が出席しました。

冒頭、牧野署長から「今回、宮城川国有林南側の林業専用道を測量設計する箇所のコントロールポイント候補地を中心に、関係する皆さんと意見交換のうえ、将来民有林の森林施業のために役立てられるように、有意義な検討会になることを期待します。」旨の挨拶がありました。

主な検討事項は次のとおりです。

- ① 国有林側から民有林へ分岐するコントロールポイント候補地について、民有林関係者との意見交換
- ② 林業経営モデル林エリア内における、今年度林業専用道開設計画箇所の確認、来年度以降の森林施業計画についての情報共有及び意見交換
- ③ 国有林と隣接する森林経営計画策定箇所の将来に向けた森林施業、路網計画についての情報共有、意見交換



「ドコモ環境学習会」実施 ～ドコモ美作の森～

【岡山森林管理署】 7月26日（土）、岡山県久米郡美咲町の中山国有林（ドコモ美作の森）にて、「ドコモ環境学習会」を実施しました。「ドコモ美作の森」は、2004年に森林整備活動を目的として岡山県の水源地である吉井川上流の中山国有林に設定し、体験林業を毎年実施しています。ドコモ美作の森ではスギ、ヒノキなどの針葉樹だけでなく、コナラ、シラカシ、スダシイなどの多種多様な広葉樹も植栽しています。

「ドコモ環境学習会」は、子どもたちへ自然の大切さ、森の楽しさを学んでほしいとの思いから、2004年より毎年広島県呉市の小学生とその保護者を対象に自然環境保護活動の一環として実施しているもので、岡山県内では今回初めて開催されました。

今回は森林教室及び林内散策、木工クラフト体験を地域の親子9名が参加し、（株）ドコモCS中国社員等の協力を得て実施しました。

ドコモ美作の森に入る前に、美咲町林業センターで森林教室を実施しました。



テーマは「森林のはたらきを知ろう」ということで森林の働きの中でも「水・土・空気」の3点に絞り、森林を皆で育てていくことが大切ということの説明をしました。参加した方々は興味深く聞いてくださいました。

森林教室の後は、ドコモ美作の森へ向かい、森を一周できる歩道を散策しながら林内で生育している植物の名前や葉の形、特徴等を説明し、木工クラフトに使用する



材料探しも行いました。林内では美しい幹肌をしたりヨウブに触れてみたり、特徴ある匂いのクロモジを嗅いで見たりとただ教えるだけでなく、五感を使って植物を知ってもらいました。子供たちの反応も様々で、幹肌が気に入ったのかずっと触っている子、匂いを嗅いで「くさい！」と叫ぶ子などがいました。



散策の後は、本日のメインイベントである木工クラフト体験を行いました。暑い中、親子で協力しあいながら作品を

作っているところが印象的でした。作品は、拾った材料の枝や葉を工夫して作られたアイデアあふれるものばかりでした。最後にアンケートに回答してもらい、「森林に対する考えが変わった」「子どもと一緒に森林を考える良い機会になった」「森のものでいろんなものがつくれることをはじめて知り、とても楽しかった」などの意見を頂きました。

今回、一般の方々に美作の森を通して自然に親しんでもらいました。今後も多くの方々に森林について学んでもらえるよう積極的に森林教育などの普及・啓発に取り組んで参ります。

需要の回復はまだ不透明 ～平成26年度 第2回近畿中国森林管理局 国有林材供給調整検討委員会を開催～

【森林整備部 資源活用課】 8月7日（木）、近畿中国森林管理局会議室において、平成26年度第2回近畿中国森林管理局国有林材供給調整検討委員会を開催しました。

委員会では、管理局から管内の木材需給動向等の分析結果を説明し、各委員方からは所属する機関・関連業界の情勢等の説明があった後、国有林材による供給調整の必要性の有無について検討が行われました。

その結果、「消費増税による駆け込み需要の反動等により、三月以降、住宅着工戸数も前年割れが続いており、需要も低迷し、原木価格も低位に推移している。益明けからの需要の回復はまだ不透明であり、国有林材の供給調整の必要性は認められないが、引き続き市場動向等を注視していく必要がある。」との意見がまとめられました。

次回の当委員会は11月に開催する予定です。

お知らせ

宮川源流大杉谷の
「木々とシカとの共生」を求めて
～ボランティア募集・三重森林管理署～

大台ヶ原一帯では樹木がニホンジカの食害を受け、森林の衰退が進んでいます。

三重森林管理署では、これ以上被害が拡大することを防ぐため、樹木の保護や植樹などの対策を行っています。

この活動の一環として、トウヒなどの樹木にネットを巻く作業を行うボランティアを募集します。

皆様のご参加をお待ちしています。

- * 募集締切・定員
平成26年9月16日（当日消印有効）
抽選20名
- * 開催日・場所
10月4日（土）大台ヶ原（大杉谷国有林）
- * 申込み
往復はがきに、氏名・年齢・性別・住所・電話番号・集散場所を記入して応募ください。
（抽選結果は、9月19日（金）までに発送を予定しています。）
詳しくは、三重森林管理署HPをご確認ください。
- * その他
参加費は、72円（保険代）です。
雨天決行です。
作業ができる服装で参加してください。
昼食、かっぱ等雨対策等は各自持参してください。
- * 応募先・問い合わせ先
三重森林管理署
TEL：050-3160-6110
（平日8：30～17：00）
HP：<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/index.html>

「国有林の森林計画に関する地域懇談会」
開催のお知らせ

近畿中国森林管理局では、5年を1期とする森林計画を策定し、これに基づき管理経営を行っています。このたび、住民参加の森林づくりを進めるため、地域の皆様からのご意見・ご要望をお伺いする「国有林の森林計画に関する地域懇談会」を開催しますので参加者を募集します。

この地域懇談会でのご意見・ご要望については、来年度に森林計画を検討する際の参考とさせていただきます。

- * 申込方法・期間
お名前等を明記の上、郵便、FAX、メールでお申し込みください。
募集人員（各30名）に達した時点で受付を締め切らせて頂きます。
各開催場所により、締切日時が異なりますので詳細をご確認ください。
- * 応募先・問い合わせ先
福井森林管理署 TEL：050-3160-6105
三重森林管理署 TEL:050-3160-6110
京都大阪森林管理事務所 TEL：075-414-9822
奈良森林管理事務所 TEL:050-3160-6150
和歌山森林管理署 TEL：050-3160-6120
岡山森林管理署 TEL:050-3160-6135
広島北部森林管理署 TEL：050-3160-1000
HP：<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/140904.html>

フォトコンテスト！・「春日奥山古事の森」
イベントもまだまだ募集中です！

花草木



今月の花草木は「オミナエシ（女郎花）」です。
オミナエシは、日本、東アジア原産で、十五夜(旧8月15日)に飾る秋の七草のひとつで、万葉集や源氏物語にも登場する日本人には古くから馴染みの深い植物です。
オミナエシは、毎年花を咲かせる多年草で、根を乾燥させて煎じたものを「取醬（はいしょう）」といい、生薬や漢方として利用されています。これは、醤油が腐ったような匂いがすることからだそうです。
また、園芸では庭植えの他、鉢植えや切り花として利用されています。
「オミナエシ」の名前の由来は美女も圧倒する美しさという意味の「おみな押し」からきているという説や、小さな黄色い小花が女性の食べていた粟飯＝「おみな飯」に似ている事から名付けられたのだとか諸説があるようです。
花言葉は、「親切」「美人」「はかない恋」「永久」「忍耐」です。

森林のギャラリー(局庁舎1階)

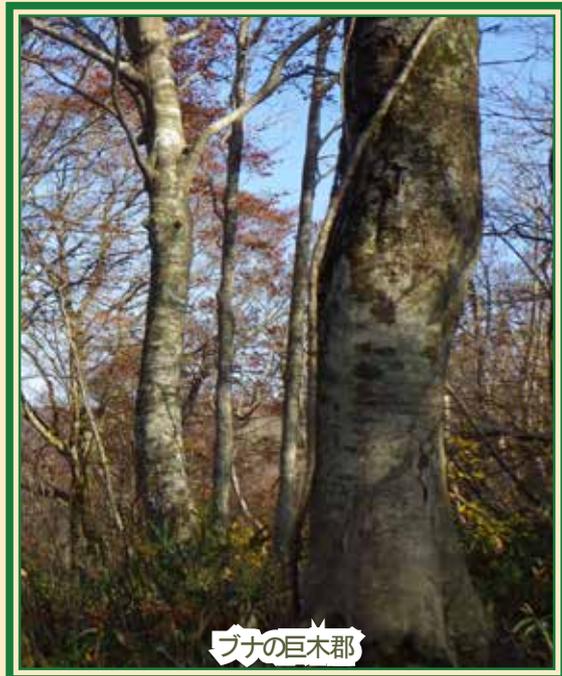
- 【9月の展示スケジュール】
テーマ：森林の絵画展
- 9/1～9/12 第4回絵画グループ「くりえいと展」
【絵画グループ「くりえいと」】
 - 9/16～9/26 スケッチ教室グループ展2014
【みのむしプロ】
 - 9/29～10/2 ノルドスケッチ作品展
【ノルドスケッチ】

シリーズ 保護林 第15回

近畿中国森林管理局の保護林

うえたにやま

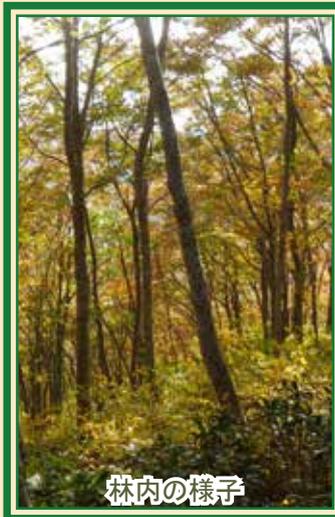
上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林 [湖北森林計画区]



ブナの巨木群



ミズナラ巨木



林内の様子

【上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林に生育する植物】

◎植物：ブナ、ミズナラ、コナラ、コハウチワカエデ、ナツツバキ、クロモジ、ケクロモジ、チシマザサ、エソズリハ、リョウブ、コアジサイ、ヒメアオキ、オオバクロモジ、ユキグニミツバツツジなど

上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林は、滋賀県長浜市に位置しています。当保護林は、日本海型ブナ林の南限付近で海拔500 mからブナ・ミズナラが優先的かつ広範囲に分布するブナ・ミズナラ群落の保護を目的として設定しています。

当保護林は、面積573.74haで水源かん養保安林やカモシカ保護地域などにも指定されています。

当保護林の植生は、保護対象樹種であるブナ・ミズナラが林冠を形成しており、そのほかにコナラやクロモジ、チシマザサなど多くの植物が見られます。



ブナ

Fagus crenata Blume



ミズナラ

Quercus crispula Blume

【保護林及び国有林内での注意事項】

- ★国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。
- ★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
- ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
- ★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。
- ★熊生息域ですので、熊鈴をつけるなど十分に準備・注意をしてください。

【上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林へのアクセス】

◎車・・・県道285号線より尾羽梨林道をのぼりアクセスします。林道は未舗装で、尾羽梨ダム周辺から車での通行ができないため、保護林東側へは、歩いてアクセスします。

◎歩・・・登山道等は整備されておらず、斜面は極めて急なため、注意して登山するようにしてください。

第15回天満音楽祭同日開催
おおさか山の日関連イベント

水都おおさか

森林の市2014

木の魅力木の不思議 桜ノ宮で森林を感じて！

入場無料

とき

平成26年 **10月5日(日)**

ところ

近畿中国森林管理局
毛馬桜之宮公園

環状線「桜ノ宮」駅西口から徒歩5分

10:00～16:00 雨天決行（荒天中止）

作ってみよう宝物



つるかご編みもあるよ
(有料)

チャレンジしよう体験コーナー



丸太切りにチャレンジ
みんなでできこり体験！

わたしたちが森林のためにできること
みんなで考えてみよう！！

- ☆ 大型絵本の読み聞かせ
- ★ 心癒す木の香りと温もりを存分に
- ☆ 知ってみよう・使ってみよう吉野材もやってくる
- ★ ヒノキのフローリングの上で積み木あそび
- ☆ 森の中で手織体験、あなただけの素敵な時間
- ★ ロケットストーブってなんだろう？

森林の恵みを味わおう



原木しいたけの
炭火焼 **試食**

水源の森ジオラマづくり
水辺のエリアはいつも楽しい



ドラゴンボート

キッズボート

一人1回200円



その他の販売ブースもいろいろ

- ★ 北陸から海の幸・山の幸もやってくる
- ★ さわやかな笹和紙の製品 (タオル・帽子)
- ★ 世界にひとつ草木染の手作りストール
- ★ 島根県産ワサビの葉漬け
- ★ 柿やミカンやシイタケ

こもれび

食堂も営業します



お問合せ先：水都おおさか森林づくり・木づかい
実行委員会 事務局

〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-75 (近畿中国森林管理局 技術普及課内)

TEL 06-6881-3484 FAX 06-6881-2055

URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html>

イベント当日はこちらまで **090-8937-7937**

